

会 議 議 事 録

1 会議名	令和6年度長岡市高齢者保健福祉推進会議
2 開催日時	令和6年12月23日(月曜日) 午後1時30分から午後2時45分まで
3 開催場所	アオーレ長岡東棟 4階 大会議室
4 出席者名	(委員) 野口委員長 川崎副委員長 井佐委員 覺張委員 鯉江委員 小林委員 佐々木委員 神保委員 長谷川委員 鈴木委員 大倉委員 山崎委員 稲垣委員 舩越委員 米山委員 (事務局) 福祉保健部長 介護保険課長 福祉総務課長 長寿はつらつ課長 健康増進課長 長岡市社会福祉協議会事務局長ほか関係職員
5 欠席者名	横澤委員 高橋委員 郷委員 永井委員
6 議題	(1) 第8期計画の実績報告について (2) 第9期計画の進捗管理について (3) 長岡市の現状について
7 資料	別添のとおり
8 審議の内容	
発言者	議 事 内 容
介護保険課長補佐	○資料確認等 ○会議の傍聴・公開についての確認 ※傍聴者なし。 会議が公開であることの説明。
福祉保健部長	○福祉保健部長あいさつ 本日はお忙しい中、そして足元の悪い中お集まりをいただき誠にありがとうございます。 昨年度、委員の皆様には第9期計画策定に御尽力いただき感謝申しあげます。今年度は、本計画のスタート年であるため、春から様々な事業に取り組んでいる。今年度から3年間、本計画をもとに各関係機関と事業を進めていくが、皆様には引き続き、この計画の進捗の確認、そして次の第10期計画へ向けて橋渡しをしていただきたくお願い申しあげます。また本日は、皆様から忌憚のないご意見をいただけるとありがたい。

	<p>介護現場を巡る等の状況は、報道等でも見ない日がなく、なかなか解決しない課題がたくさんある。今年度は報酬改定初年度であり、今後は事務の標準化により、介護現場の皆様の実務負担が少しでも軽減されるよう取り組まれる予定である。</p> <p>おかげさまでは長岡市は多くの方から協力をいただいている。引き続き、委員の皆様、介護事業者の皆様のお力を借りて、市民の福祉をしっかりと守っていくべく、市としても努めていきたい。</p>
介護保険課長	○交代した委員の紹介
委員	<p>○委員あいさつ</p> <p>「長岡老いを考える会」から参りました。よろしくお願ひいたします。当会は、介護保険制度が始まった2000年より前に発足し、30年ぐらい活動している会である。当事者の目線で会議に出席させていただきたい。</p> <p>(ここからは委員長が進行)</p>
委員長	○議題1「第8期計画の実績報告について」、○議題2「第9期計画の進捗管理について」を続けて事務局から説明願う。
介護保険課長	(議題1は、資料No.1-1、1-2をもとに説明。)
担当課長	(議題2は、資料No.2-1、2-2をもとに、健康増進課長、長寿はつらつ課長、福祉総務課長、介護保険課長が各課の主要事業を説明)
委員長	ただいまの説明、資料について、質問等はあるか。
委員	<p>資料No.2-1、1ページ「ながおかウェルネス事業の推進」について、アプリも含めて、新しい取り組みに期待している。事業の認知度の向上ため、市内企業へのPRが一緒にできれば良いと考えている。</p> <p>同資料4ページ「スポーツ・レクリエーション活動の推進」について、運動を続けている高齢者が多い一方で、上手く身体が動かせず運動を敬遠している方も多いと考える。以前、高齢者がホールに集まり、eスポーツでのボーリングを楽しむという海外の事例を聞いた。プレイヤーはもちろん、見ている人も応援に熱が入り、スポーツを通じて参加者全体が楽しめる取り組みであった。簡単なルールであれば、高齢者も取り組みやすく、スポーツを楽しむことができると思う。こうしたeスポーツ事業に取り組むことも良い方法かと考える。</p>

健康増進課長	<p>一つ目、健康アプリ「ながおかウェルネスチャレンジ」について、長岡商工会議所へ依頼し、企業あての会報誌にPR用チラシを折り込んでいただいた。その他、市内の医師会、薬剤師会、歯科医師会のそれぞれに加入する医療機関あてにチラシを発送した。市ホームページ等でも情報を掲載している。あらゆる媒体を活用してPRをしており、現在、毎日100人ずつ登録者が増えており、今年度3,000人の登録者を目指している。引き続き、周知を含めた取り組みを進めていく。</p> <p>二つ目、太鼓形式の簡単なリズムゲームを活用した高齢者のeスポーツ体験会事業を実施している。10回程度の体験期間を設け、最終回に得点の高い方から順位を付けるような内容で行っている。脳の活性化や高齢者のコミュニケーション作りを目的に取り組んでいるため、来年度以降もeスポーツを活用した事業の実施を考えている</p>
委員	<p>一つ目、市の車いすの無料貸し出し事業について「土・日曜日に車いすが必要になって困った」という方がいらっしゃった。土・日休みの福祉用具事業所が多いため、市の貸し出しが365日対応できるように検討いただきたい。</p> <p>二つ目、以前にマッサージの助成等について、助成券を使える事業所が限られているため、使えない方が多い地域があるとお聞きした。今現在、以前と同じような助成券の発行であるとか、助成券を使える事業所がどの程度なのか、再度教えていただきたい。</p> <p>最後に、オレンジカフェについて、川口地域はある事業所が閉鎖してから、コロナ禍もあり、オレンジカフェが開催されていない。川口地域は特別養護老人ホームやデイサービス、サービス付き高齢者住宅などがあるため、それらの事業所が協力してオレンジカフェを開催していただけると良いと思う。</p>
長寿はつらつ課長	<p>一つ目、「車いすの無料貸し出し」について、アオーレ長岡の福祉窓口が開いている時間であれば貸し出しを行っている。ただし、今年度からアオーレ長岡が日曜日閉館になったため、閉館時は車いすの貸し出しができない状況である。計画的な利用であれば、土曜日の開館時に利用いただきたい。</p> <p>また、各支所の窓口でも車いすの貸し出しを実施している。ただし、土・日曜日は支所窓口が閉館しているため、その辺を市民に周知していきたい。</p> <p>二つ目、はり・きゅう・マッサージ施術費の助成について、以前、「川口地域では、利用できる事業所がない」というお話をいただいていた。今年度、長岡鍼灸マッサージ師会の皆さんと意見交換を実施した。市助成券事業を事業所が取り扱わない理由等を確認したところ、マッサージ事業所の負担が生じる制度のため、なかなか参入することが難しいという話をいただいた。今後、制度の見直しを検討するため</p>

<p>委員</p>	<p>にも、引き続き、意見交換を行いたいと考えている。</p> <p>三つ目、オレンジカフェについて、川口地域ではオレンジカフェを実施していない。ただし、オレンジカフェという名前ではないが、介護者のつどいといった名称で、市直営で開催している。オレンジカフェの看板を掲げるかは、地域包括支援センター等の関係者と協議し、無理のないように進めていきたいと考えている。</p>
<p>長岡市社会福祉協議会事務局長</p>	<p>資料No.2-1、8ページ「福祉送迎サービス」について、医療機関等への送迎は、高齢者や障害者にとって大事なサービスだと思う。資料にある「令和7年4月から事業改正」は、どのような内容か。</p>
<p>委員</p>	<p>現在の「福祉送迎サービス事業」は、自身で通院が困難な方を対象にサービスを行っているが、道路運送法に関するガイドラインの整理を受け、改正に向けた検討を重ねてきた。従来の「福祉送迎サービス事業」を、一人暮らしの高齢者へ簡易な家事等を支援する「ボランティア銀行」に統合し、料金体系や対象者の範囲などを整理している。利用者やボランティア、地域のコミュニティーセンター等の関係者の意見を集約し、双方がより良い形で気兼ねなくサービス提供でき、それを受けられる体制が整うように改正したいと考えている。</p>
<p>長寿はつらつ課長</p>	<p>資料No.2-1、10ページ、認知症政策「チームオレンジ」の取り組みを検討したと記載があるが、私ども福祉事業所だけでなく、地域で認知症の人を支える仕組みは、地域で暮らしていくために非常に期待しているところである。今現在の進捗状況や新たな動きがあれば提示いただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>「チームオレンジ」は、認知症サポーター養成講座受講者から、意欲的な方を対象にステップアップ講座を実施し、地域で活躍してもらう取り組みであり、国も進めているところである。チームオレンジは早急に取り組まなければならないところであるが、具体的な活躍の場を検討している段階であり、現時点ではっきりとしたところは申しあげられない。</p>
<p>福祉総務課長</p>	<p>資料No.2-1、11ページ「介護人材確保に向けた支援」について、介護サービスの提供は、やはり専門職が必要になり、介護人材の確保が必要不可欠だと考える。「介護福祉士学生育成支援」制度があるそうだが、対象者や就職先が市内でなければならないといった条件などを教えていただきたい。</p> <p>「介護福祉士学生育成支援金」は、介護福祉士養成コースのある市内4校の専門学校への入学者を対象にしている。卒業後、長岡市内に</p>

<p>委員</p>	<p>就職していただくことは、必須でなく努力義務としている。</p> <p>また「介護福祉士実務者研修受講料補助金」は、市内の介護保険事業所等に勤めている職員を対象にしている。</p> <p>介護医療院を増やしてほしい。義父は介護付有料老人ホームに入居していたが、病気になり、病院との入退院を繰り返していた時期があった。当時、市内の介護医療院の空床がなく、やむを得ず市外の介護医療院に入院した。遠かったため、看取り期の面会が思うに任せず残念に思う。</p> <p>もう一つ、在宅介護者へ給付金が支給されるのか。また、どのくらいの金額が支給されているのか。</p>
<p>介護保険課長補佐</p>	<p>一つ目、介護医療院について、市内に2か所の介護医療院がある。利用状況の詳細は不明だが、満床になってはいないと聞いている。また、今年は近隣市にある小千谷総合病院に介護医療院が開設され、そちらを利用している市民も多い。近隣市町村の施設等の利用状況も勘案しながら、整備を進めていきたいと考える。</p>
<p>長寿はつらつ課長</p>	<p>二つ目の質問について、資料No.2-1、6ページ「在宅介護者への支援の充実」を掲載している。具体的には、在宅で介護を行う同居の家族に支援金を支給している。支給額は、同居する要介護者の要介護（支援）度が、要支援2から要介護2の場合は月額3,000円を、要介護3から要介護5の場合は月額5,000円を支給。ただし、ショートステイ等を多く利用し、在宅介護の日数が月20日未満になる場合は支給対象外になる。支援金の支払いは4か月分ずつ年3回支払っている。また、支援金を支給するにあたり、認知症に関するランクや常時オムツが必要といった条件もある。</p>
<p>委員長</p> <p>長寿はつらつ課長、介護保険課長補佐</p>	<p>○議題3「長岡市の現状について」事務局より説明願う。</p> <p>(資料No.3-1、3-2をもとに説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>ただいまの説明、資料について、質問等はあるか。</p> <p>(質問なし)</p>
<p>委員長</p>	<p>会議全体を通して、質問、意見等はあるか。</p>
<p>委員</p>	<p>資料No.2-1「介護現場における生産性の向上」について、介護サ</p>

<p>介護保険課長</p> <p>委員長</p> <p>介護保険課長補佐</p>	<p>ービス事業所は、人手不足の中でこれに取り組んでいかなければならない状況にある。今年度は、I Tの活用推進に取り組むため、長岡市からも支援をいただいた。引き続き、I Tの導入等を考えているため、今後とも支援をいただけると事業者としてもありがたい。</p> <p>いただいた御意見を関係課で共有しながら、介護現場の生産性向上につなげられるよう、長岡市としてどんな支援ができるのかをよく検討していきたい。</p> <p>それでは進行を事務局にお返しする。</p> <p>(ここからは事務局が進行)</p> <p>長時間にわたり、活発に審議いただき感謝申しあげる。ありがとうございました。</p> <p>○閉会</p>
--	--